

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	天王町立出戸小学校								
学 年	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	特殊学級	計	教員数
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14	18
児童数	61	46	48	49	64	58	2	328	

研究の概要

1 研究主題

たしかな力，ゆたかな学びをめざして  
 ～一人一人が自ら考え，自ら学びをひろげる子どもの育成～

2 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

- ・ 1～6年 国語科(他教科・領域の学習の基礎となる言語能力の向上を図るため)
- ・ 1～6年 算数科(児童の定着度に差が出やすい教科の重点的指導を図るため)

(2) 計画

平 成 14 年 度	<p>テーマ たしかな力，ゆたかな学びをめざして ～一人一人が自ら考え，自ら学びをひろげる子どもの育成～</p> <p>仮説</p> <p>(1) 一人一人の子どもの願いや実態に応じて学習過程・形態・環境などを工夫することにより，日常生活に生きて働く「たしかな力」が育つのではないか。</p> <p>(2) 子どもの自己評価・相互評価を生かした学習経験を積み重ねることで，自分や互いのよさを認め合い，自己決定・自己選択する力が育つのではないか。</p> <p>(3) 相手の立場や考えを尊重し伝え合う力を高める学習を計画的・総合的に進めることによって，「ゆたかな学び」を広げることができるのではないか。</p> <p>研究内容・方法</p> <p>個に応じた指導のための指導方法・指導体制の工夫改善                  国語科・算数科でのTTの実施と少人数指導の充実                  個に応じた教材の開発                  発展的・補足的な学習を取り入れた単元の積極的導入                  基礎学力定着のための教材開発</p>
------------------------	--

平成15年度

テーマ

たしかな力，ゆたかな学びをめざして  
～一人一人が自ら考え，自ら学びをひろげる子どもの育成～

仮説

- (1) 一人一人の子どもの願いや実態に応じて学習過程・形態・環境などを工夫することにより，日常生活に生きて働く「たしかな力」が育つのではないか。
- (2) 子どもの自己評価・相互評価を生かした学習経験を積み重ねることで，自分や互いのよさを認め合い，自己学習力が育つのではないか。
- (3) 相手の考えを尊重し伝え合う力を高める学習を計画的・総合的に進めることによって，「ゆたかな学び」を広げることができるのではないか。

研究内容・方法

確かな学力の向上を目指した授業改善  
(国語科・算数科を中心に，教師の授業力の向上を図る)

国語科および算数科でのTT指導の充実

国語科

4，5年生の全時間でのTT実施を原則とし，その他の学年の重点単元でTTを必要とする場合に弾力的に調整し実施。

算数科

3年 170時間 4年 300時間 5年 150時間 6年 300時間

1C2T，1C3T，3コースなど，児童の実態や単元の特性に応じて課題別，興味・関心別，学び方別，習熟度別などの学習を設定。

確かな基礎学力(特に言語能力)の定着に向けた指導体制の拡充  
(研究の仮説にそった研究体制の整備)

平成16年度

テーマ

たしかな力，ゆたかな学びをめざして  
～一人一人が自ら考え，自ら学びをひろげる子どもの育成～

仮説

- (1) 一人一人の子どもの願いや実態に応じて学習過程・形態・環境などを工夫することにより，日常生活に生きて働く「たしかな力」が育つのではないか。
- (2) 子どもの自己評価・相互評価を生かした学習経験を積み重ねることで，自分や互いのよさを認め合い，自己学習力が育つのではないか。
- (3) 相手の考えを尊重し伝え合う力を高める学習を，計画的・総合的に進めることによって，「ゆたかな学び」を広げることができるのではないか。

研究内容・方法

確かな学力の向上を目指した授業改善  
(国語科・算数科を中心に，他教科・領域へ広げ関連付けて)

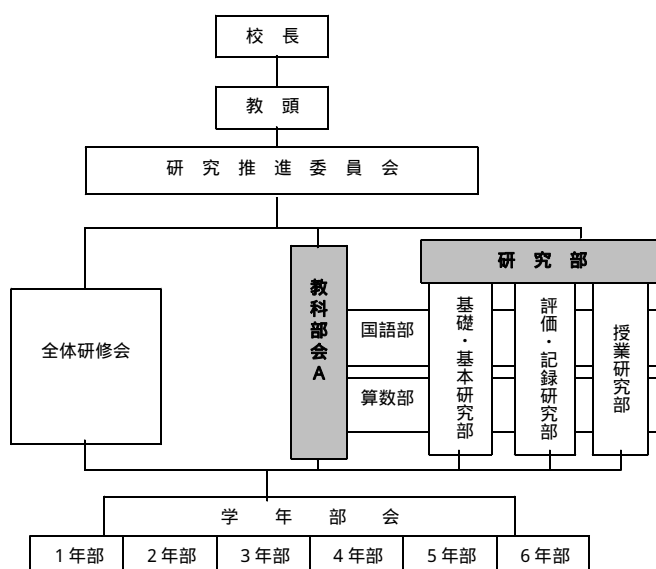
TTや少人数指導など個に応じた指導体制の拡充

指導と評価の一体化

確かな基礎学力の定着の検証，成果と課題の検討

地域の幼・保・小・中の連携の推進

### (3) 研究体制



#### 平成 15 年度の研究の成果及び今後の課題

##### 1 研究の成果

###### 仮説 1 「たしかな力」を育てるために

- ・ 学習指導目標年間計画に基づき、月目標に沿った各学年の日常の指導を図るとともに、学期末には児童が自分の学習の様子についての自己評価を行い、年間を通して継続した。
- ・ 「話し方（話形）」「聞き方」の基本を掲示し、授業や日常の場面で、計画的に指導した。
- ・ スピーチや音読を工夫して継続することで、伝え合う力や表現する力の基礎を養うようにした。
- ・ 「書き方」の指導として、ノート指導に重点的に取り組み、課題・学びの記録・自己評価をノートに記入するようにした。（シート学習においても同様）
- ・ 朝または昼の時間に「スキルタイム」を確保し、学期に 1 回のチャレンジテストで定着を確認した。
- ・ 「チャレンジコーナー」として、国語の詩や言葉あそび・ことわざ等、算数では補充的・発展的な問題等をそれぞれ校内数か所にコーナーを設けて掲示し、児童に親しみやすい環境構成や意欲付けを図った。

###### 仮説 2 自分や互いのよさを認め合う力、自己学習力を育てるために

- ・ 単元計画を明示し、各時間の課題に照らした自己評価の項目を明確にすることで、学習の終わりには学年の発達段階に応じて、自己・相互評価を継続することができた。
- ・ 各学期の重点単元では、シートや自己評価の方法を工夫し、評価と指導の一体化を心がけた。
- ・ 学習ノートやファイルをポートフォリオ的に用いる等、教科や単元の目標に応じて学習の成果を児童が実感できるようにした。

###### 仮説 3 「ゆたかな学び」を広げるために

- ・ 個に応じた指導方法の工夫改善のために、TT を効果的に実施できるように、単元構想から評価に至るまでの全てを全教師の協業で行うようにし、役割分担を明確にした授

業を実施するようにした。

- ・児童の実態，願い，学び方等に応じて学習集団を柔軟に編成できるように，ＴＴや少人数指導を固定せず弾力的に取り入れるようにした。
- ・国語科・算数科の重点指導事項を意識し，「つきたい力」を単元毎に明確にして児童の実態にそった指導を行うようにした。国語科では，「豊かな表現力の育成」を柱に，１単元１領域を原則としたスリムな単元構成と音読を中心にした授業構成により，学び合いの場を十分に保障するようにした。算数科では，見通しをもって学習を進める本校独自の「でとっこ学習法」の継続により，課題との出会いの工夫，多様な自力解決のための効果的支援，自分の考えを表現したり自分の考えを説明したりする練り合い活動の充実等，学年段階や年間の見通しを考慮して実践した。
- ・授業の終末や，本時と次時の間，単元の終末等の各段階で，単元の特性や発達段階，児童の習熟の程度等に応じた発展的・補充的な学習を取り入れるようにした。

## 2 今後の課題

- ・客観的なデータによる実態把握に基づき，指導方法の工夫改善を行うようにする。
- ・ＴＴが有効に機能するような時間割の構成を検討する。
- ・少人数指導を行う際の場の設定の工夫について検討する。（余裕教室等の不十分さ）
- ・本校で委嘱を受けている「就学前教育と小学校の連携に関する総合的調査研究」（平成15，16年度文部科学省）との関連を図り，幼・保・小・中の12年間の学びをつなげる研究を目指す。

学力把握のための学校の取組

- ・学習に関する児童の実態アンケートの分析により，自校の実態を把握する。
- ・学習状況調査，学力検査の結果を昨年度のデータと比較して分析・考察し，その結果をふまえて，重点指導項目を洗い出し，指導方法の改善を図る。

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

平成15年度

授業研究会の際に，近隣の幼稚園，保育園，小・中学校及びフロンティア各校に呼びかけて参加していただき，研修を深めた。

6月27日 第1回 指定校訪問研究会（3年国語科・6年算数科）

<協議の視点>

国語；・自分と友達の感じ方の違いを知るために，少人数グループでの意見交換や一斉での話し合いは，有効であったか。

・ＴＴは，場面（一斉・小グループ）に応じて個に有効に支援できていたか。

算数；ねらいにクラス全員が到達できるために，本時の学習スタイルの工夫は適切であったか。

11月21日 フロンティアスクール自主公開研究会（第2回指定校訪問）

<協議の視点>

国語；・児童は自分の考えを自分なりに伝え，友達の考えのよさを見付けようとしていたか。

・これまでの学習から考えたことを伝え合い，友達の考えを認め合うために，2コースで話し合ったことは有効であったか。

算数；・自分なりの方法で解決しようとする児童への対応は適切であったか。

・3つのコースに分かれたことは，児童にとって効果的であったか。

平成16年度

- ・授業研究会への参加の呼びかけを引き続き行い，実践の交流を図る。
- ・授業公開，広報活動等を通して，地域・家庭への普及を図る。

---

【新規校・継続校】 14年度からの継続校  
【学校規模】 13～18学級  
【指導体制】 少人数指導 TTによる指導  
【研究教科】 国語 算数  
【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】 有